



井伊直弼と吉田松陰

世田谷区内には意外に多くの史跡が残っている。大きなものから目立たぬほんの小さなものまで、それぞれが現代のまちなかに世田谷の地に営んだ人の足跡を伝えてくれる。想像の力が加わると、にわかにこれらの史跡は輝き出し、かつての物語を語り出す。まちの風景に時の奥行きをつけて、過去から現在、そして未来へと風景の履歴を描き出してくれる。

大老井伊直弼の墓のある豪徳寺と若

歴史の壁を 織りこんだまち

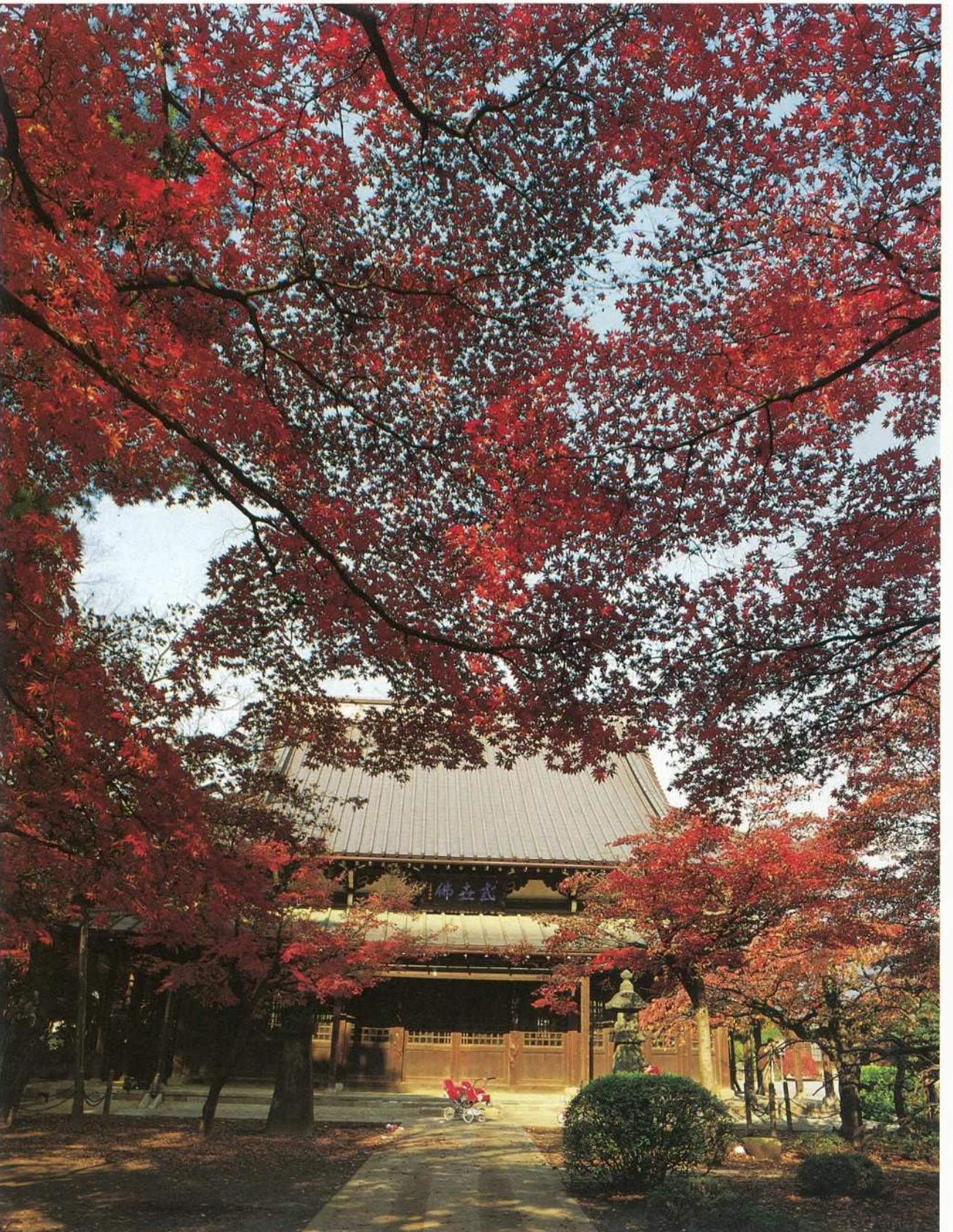
林の松陰神社。幕末の日本を大きく左にした二人のライバルが、こんなにも近く葬られていることに気づく人は少ない。桜田門外の変で水戸浪士に暗殺された井伊直弼が、井伊家菩提寺豪徳寺の静かな境内の奥に眠っている。その暗殺のわずか数カ月前、安政の大獄によって処刑された吉田松陰も、隣の若林村の毛利家抱屋敷内に弟子の高杉晋作や伊藤博文の手で葬られ、松陰神社の始まりとなっている。歴史の生々しいドラマを伝えてくれる因縁浅からぬ二つの墓といえる。



豪徳寺名物招き猫②



吉田松陰が眠る墓⑩



紅葉の美しい豪徳寺境内②

⑯松陰神社と若林公園⑰上馬の駒留八幡神社⑱さぎ草ゆかりの常盤塚⑲招き猫の豪徳寺

⑲世田谷城址公園⑳弦巻 實相院界隈㉑宮ノ坂 勝光院と竹林㉒松原の菅原神社㉓お面かぶりの九品仏と参道

常盤伝説とさぎ草の里

豪徳寺二丁目の世田谷城址公園は、中世の世田谷を支配した吉良氏の居城の跡だ。わずかに小高い丘には木々が茂り、昔を偲ぶものは土塁の一部のみになっているが、郷土史を繙き、ゆかりの地を歩けば中世の世田谷のありさまが浮かび上がってくる。七代城主頼康の側室の一人常盤を葬ったという、上馬五丁目の常盤塚。この小さな塚には悲しい話が伝わっている。頼康にたいそう愛された常盤は他の側室に妬まれ、偽りの告げ口をされて、頼康にも疑われるようになつた。誤解のとけるまで落ちのびようとした常盤だが、身重の体と心労とでいくばくも歩を進めぬうちに追手に取り囲まれ、この地で自ら命を絶ち、頼康の子を死産したという。のち、不明を恥じた頼康は、死児を若宮八幡として駒留八幡社に併祀し、常盤のための弁財天を勧請したと伝えられる。

また、奥沢城主の愛娘常盤が頼康と結ばれたのは、頼康の放つた鷹が捕殺した白鷺の脚に常盤の詠んだ歌が結んであったことがきっかけといわれている。白鷺の骸を埋めた奥沢の深田一帯には、雪と見まがう「さぎ草」の花が



中世世田谷を支配した吉良氏の世田谷城址②



まちの一角にひっそりとある常盤塚。訪れる人を伝説の世界へ誘う④



白さぎに似た小さな花が咲く

一面に咲いたという。このさぎ草は、昭和の初期まで豊富に自生していたようだが、現在では「区の花」となつてはいるものの、奥沢城址である浄真寺の「さぎ草園」に往時を偲ぶほかない。

吉良氏ゆかりの史跡はほかにも多い。頼康の法名がつけられた桜一丁目の勝光院。宮坂の世田谷八幡は頼康によつて建立されたともいわれる。弦巻三丁目の實相院は吉良家最後の当主の開いた寺で、森閑とした境内は都会にあつて貴重なものだ。まちなかに織りこまれた歴史の義は何百年にもわたつて生きづけ、まちに歴史と伝説の陰翳をつけている。



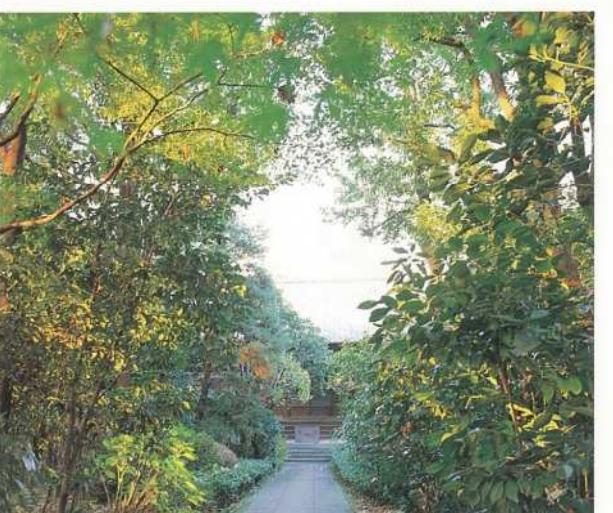
常盤伝説がからむ駒留八幡だが、歴史はさらにさかのぼり、鎌倉時代後期、北條左近太郎入道成頼が乗馬の留まった地に勧請したとの由来を持つ⑩



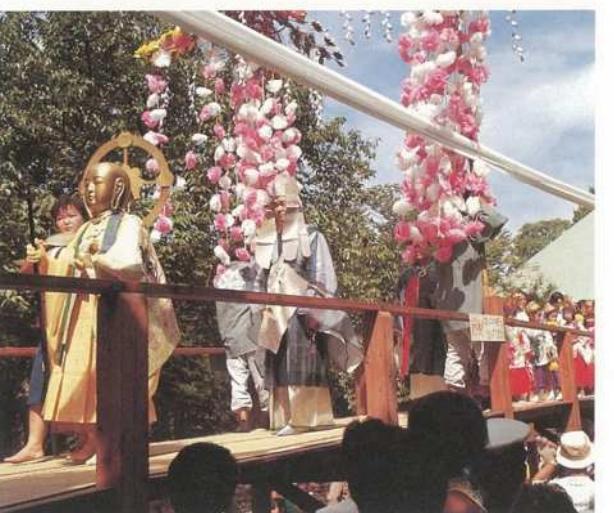
端正なたたずまいの勝光院。昔から格式の高い寺だ⑫



浄真寺の境内❷



うっそうとした樹木の實相院❸



九品仏浄真寺の「お面かぶり」の行事は三年に一度行なわれる。都の郷土芸能にも指定されている⑯

緑

ー
の
ー
ベ
ル
ー
ト、
国
ー
分
ー



貴重な自然の風景となった多摩川の緑と水⑦



多摩川の灯ろう流し。夜の川面が光に彩られる⑦

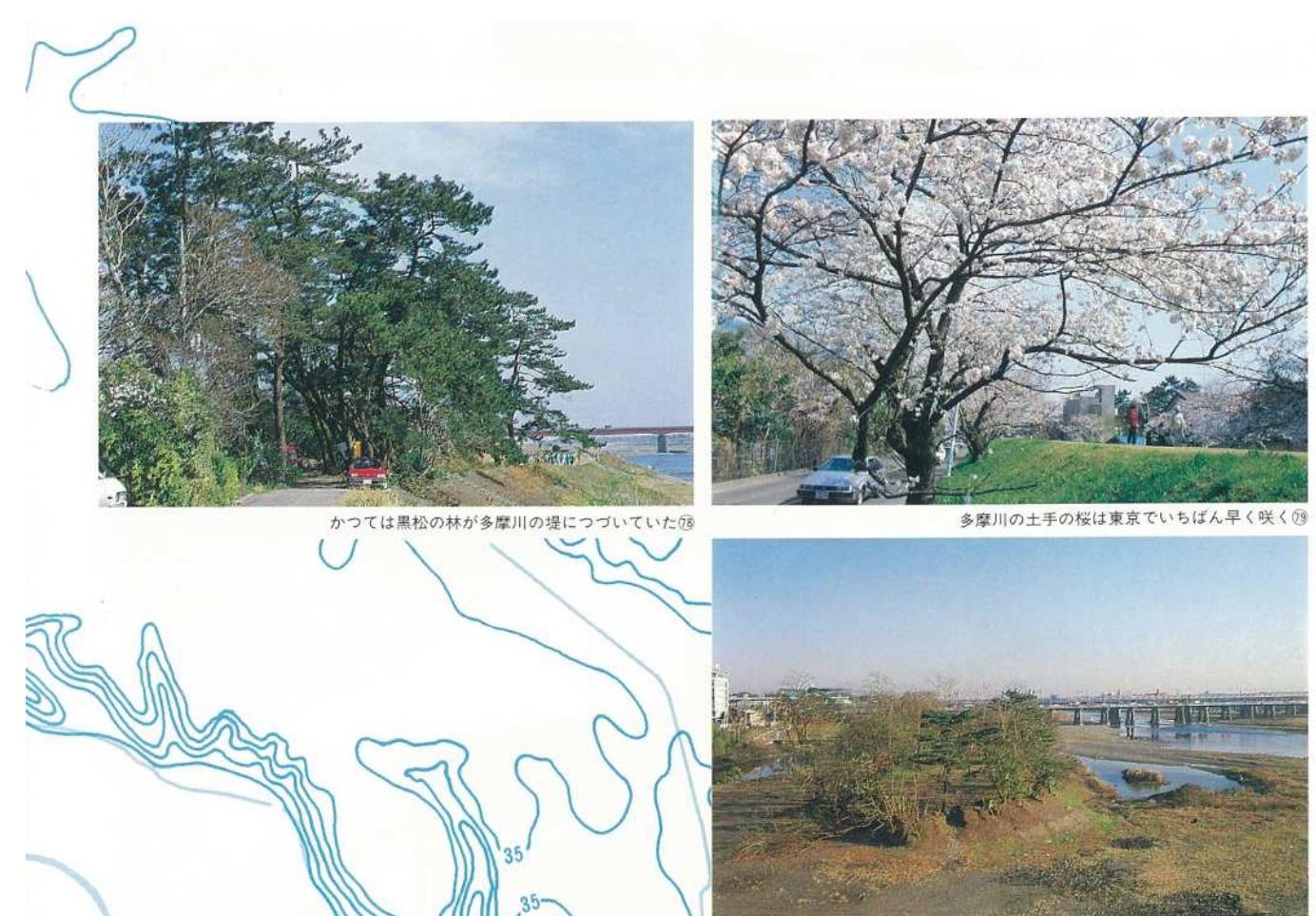


新二子橋⑦

大地が都市の相貌を支えている

今、私たちが生
活している風景も、
実は自然の大地上に広がっている。
これまで、わずかの間に大きな変化の激しさを顧みれば、人々の営みにつけられたり、想像するに難くない。二十一世紀にはどのようなまちが出現するか。未来という流れに預けるには、あまりにも現実的な課題であることに人は気づいている。しかし、変わらぬものはこの揺ぎのない大地である。これからも、人々の生活や文化が作るまちの相貌を支えづけることは疑いがない。

世田谷区は、武蔵野台地の南端に位置している。台地の西端を大きく削って多摩川が流れ、多摩川に流れこむ低地から見ると、緑の国分寺崖線がこの台地の際に延々とつづいている。都市化の波に洗われかつての農村風景から一変してしまった世田谷であるが、自然が人工の都市の上面をひょいともちあげ、その隙間から覗いているような具合だ。



⑭多摩川灯ろう流し⑮多摩川の緑と水⑯新二子橋からの眺め⑰兵庫島⑱多摩川沿いの松林⑲多摩川土手の桜